

人類働態学会 21期 第3回理事会

日時：2011年2月11日（金） 14:00～16:30

場所：大妻女子大学「生活科学資料館」（図書館棟の地下一階）

出席者：植竹照雄、榎原 毅、岡田 明、片岡洵子、小木和孝、酒井一博、下田政博、鈴木一弥、
瀬尾尚聡、竹内由利子、城 憲秀、橋本修左、平野和彦、堀野定雄、真家和生、水野有希、
松村秋芳

配布資料： 資料1 21期第3回理事会次第 資料5 MLの利用規約
 資料2 21期第2回理事会議事メモ 資料6 21期第2回理事会後のメール会議内容
 資料3 人間工学チェックポイント 資料7 JHE Vol.39 No.2 目次
 資料4 研究推進の活動について 資料8 IEA2012 リーフレット

会員動向（下記を含め219名）

<退会> 須藤清二、日山克之（八戸市市民健康部）

<入会> 中村英三（常磐大学）

議事次第

●審議事項

1. 第46回大会

- ・事務局長は広島大学の村上玄樹氏、実行委員には酒井理事、竹内理事、真家理事、鈴木理事、庄司氏、水野（有）理事にお願いすることとした。
- ・大会のスケジュール案として、1日目（6/4）の午前中に理事会、一般演題を入れ、夏季研究会や研究推進などのワークショップまたはシンポジウムを取り入れてもらうように、大会長に打診する。
- ・2/20, 21に、大会長・大会事務局長・酒井氏の3人での会合を設け、意見交換やスケジュール調整などを行い、2月末までに第二報を会員へ発信する予定。

2. 働態学会の研究活動について

(1) 人間工学チェックポイントについて

- ・昨年12月に会合を開き、良好事例を60項目選定し、3月28日をめどに記述作業を完成させる予定。しかし、イラスト作成者の手配が未定であり、費用面から作成者を検討する。
- ・作成したチェックポイントを病院で試験的に利用し、7/26・27に看護学会で発表、年内にIEAに報告する予定。

(2) 研究推進事業（働態研究テーマ：自転車）

- ・基本コンセプトとして、①人類働態学会が活性化すること、②若手研究者が活性化し、業績拡大に貢献、③公募型研究に申請するための体制を整備、とする。
- ・科研費申請用のテーマを7つ創出（基盤Aを想定）、①自転車を利用する人に関する課題、②自転車利用と教育、③安全な自転車の開発、④安心して自転車利用できる街づくり、⑤自転車を誘導する標識、⑥自転車事故を未然に防ぐデバイス、⑦自転車利用の実態と自転車にかかわる事故分析、など。この中から絞って、科研費を申請する予定。行動予測を働態学的な視点で着手し、成果を出すことも検討する。
- ・今後の課題として、全体的な日程の確認、シンポジウムの開催、研究組織の形成などを検討する。次

回大会で自転車をテーマとしたシンポジウム（もしくはポスターセッション）の企画を打診する。

3. 生理人類学会との共同シンポジウム

- ・2/12（土）に、生理人類学会側の世話人と打合せ予定。加齢・高齢・成長（若年層への教育と実戦）といったテーマでお互いの学会の特徴がでるようなテーマを検討中。
- ・シンポジウムのスケジュールは、11/26, 27の生理人類学会（関西大学・大阪）で共同開催を予定

4. JHEの別刷の値段と査読・投稿料の有無について

- ・現状では、投稿・査読・掲載料は無料、別刷は50部まで無料としており、50部を超えると有料になる。論文掲載者の大半は別刷を50部までしか頼まないため、学会の収益には繋がっていない。
- ・別刷の页数や冊数などによる改定金額を検討し、PDFは有料化にする方向で検討。会員と非会員への差別化も視野に入れて、査読システムや論文閲覧などの仕組みを改めて整備する。

5. 未納者対応について

- ・竹内理事から以下の提案があり、承認した。
 - (1) 2年分以下については通常の督促を実施する。
 - (2) 3年以上の滞納者については区切りを付ける。

6. メーリングリストについて

- ・MLの適切な利用を促すために、利用規約の見直し、運用ルールの検討を行う。

7. 公開講座について

- ・次世代WG担当と相談し、学生を対象とした公開講座（例えば、統計、英語論文の書き方、プレゼンテーションなど）を企画する予定。

8. 次々年度大会の開催候補について

- ・松村理事（防衛医大）に打診中。

●報告

各担当よりの報告

JHE

- ・Vol. 39 No. 2の目次が完成し、印刷に入る段階。今期中に発送予定。

国際交流

- ・IEA2012（ブラジル）のアナウンスがきているので、参加する場合は宿泊先を早めに申し込む。

働熊研究の方法

- ・印刷が2月末に完了する予定。今期中に発送予定。

●その他（報告についての要望）

- ・地方会、共生シンポ、夏季研究会などは学会にとって重要な行事であるため、終了後は、大まかな参加者数、予算削減の中で問題なく運営できたのか、会員同士の交流や研究発表でのトピックスなどを、理事会に報告するようにしてほしい。

今回の理事会は、 2012年4月23日 14:00～ 大妻女子

以上